

市議会要望等事項

決算特別委員会(平成26年度)

平成 年	月	定例 臨時 の別	議会の種 別	担当部	担当課	議員名	要望事項	答弁内容(要点記述)	説明 ・課題、問題点・今後の方針	処理 状況 済 未済	未済の場合 その処理状況
1	27	10	定例 決算特別 委員会	企画経営部	政策推進 課	伊藤議員 山本議員	ふるさと納税について、工夫を凝らし、寄附金の増額 に取り組むべきである。	昨年度の8月に記念品のリニューアルを行い、平成 26年度の寄附額が前年度の約3倍になったが、今年 度になり寄附の件数が落ち込んでいるため、本年9月 から再度、記念品のリニューアルを行い、寄附件数も 伸びてきている。今後も工夫を凝らし、ふるさと納税の 寄附額の増額に取り組む。	答弁に同じ。平成28年度にも記念品を充実させる方 向で検討中。	済	平成28年度に記念品の追加を行う予定。
2	27	10	定例 決算特別 委員会	企画経営部	財政課	伊藤議員	決算成果報告書の事務事業評価表の様式について わかりやすく見直して欲しい。	システム改修の必要があるが、わかりやすくなるよう 検討したい。	財務会計システムの改修に合わせて対応を検討す る。	未済	説明に同じ。
1	27	10	定例 決算特別 委員会	市民交流部	国民健康 保険課	北山議員 中野議員	累積赤字の解消については、先送りすることなく解決 すべきである。	県からの情報では、累積赤字解消のための起債は できず、また、国保特会は県への広域化後も継続し、 繰上充用も制度的には可能であろうと聞いている。 県からは5年で解消するようにと指導も受けており、対 応を慎重に検討している。	単年度において赤字を発生させないための一般会 計からの繰入と同時に累積赤字解消のための繰入が 財政的に可能か検討する必要がある。	未済	11月中に対応方針を検討する(予定)。
1	27	10	定例 決算特別 委員会	都市整備部	住まい政 策課	北山議員	市営住宅の集会所のバリアフリーの状況について、 その内特に市営鳥島住宅の対策ができていない、この 住宅も含めて5団地の対策を早急にしていくべきであ る。	市営住宅に集会所を設置している10団地のうちバ リアフリーとなっていない5団地の集会所の玄関、トイレ などは既存スペースの問題もあり車椅子使用を想定し て改修は難しい。しかし、入居者の高齢化が進んで きていることから、手すりの取り付け、段差解消のため のスロープ設置など、できるところから実施していく。	答弁に同じ。再度現地調査し、管理人とも対応内 容について協議していく。	済	
2	27	10	定例 決算特別 委員会	都市整備部	住まい政 策課	大島議員	市営住宅の共益費の管理をしている各住宅の管理 人のなりてが、入居者の高齢化に伴って少なくなって きている。管理人の負担を少なくするためにも市で共 益費の徴収がかんがえられないか。	答弁なし。	共益費の徴収については、各住宅の自治によって管 理されており、今後も原則、各住宅の市から委嘱し ている管理人を中心に徴収、執行などお願いしたい。一 方指定管理者において、現在、管理人業務のマニ ュアルを作成する作業に入っており、その中で状況に応 じた管理人業務の支援についても考えていく。	未済	今年度中にマニュアルを作成する予定。

市議会要望等事項

決算特別委員会(平成26年度)

平成 年	月	定例 臨時 の別	議会の種 別	担当部	担当課	議員名	要望事項	答弁内容(要点記述)	説明 ・課題、問題点・今後の方針	処理 状況 済 未済	未済の場合 その処理状況	
1	27	10	定例	決算特別 委員会	都市安全部	防犯交通 安全課	みとみ議 員	さすまたの配布も重要だが市民などの窓口対応に についても考えるべきである。	答弁不要。(要望を述べるに留めるとのこと)	新規採用者に対して、さすまたの使用方法的説明時 に「窓口業務における不当要求行為対策の心得」の周 知を行う。	未済	今年度実施予定のさすまた使用方法説明 時に「窓口業務における不当要求行為対策 の心得」の周知予定。
2	27	10	定例	決算特別 委員会	都市安全部	水政課	北山議員	市街地山側の売布山手や仁川地区に雨量計の整備 要望する。	山ろく部における雨量計の必要性について検討す る。	答弁に同じ	未済	次年度以降整備について検討する。
3	27	10	定例	決算特別 委員会	都市安全部	道路政策 課	藤岡議員	公共交通の充実について、月見山・長寿ガ丘のバス 交通の開設を先行事例として、市内の公共交通につ いて更なる充実を図るべきである。	答弁不要。(要望を述べるに留めるとのこと)	「宝塚市地域公共交通総合連携計画」では、市、市 民、交通事業者などの総意と協力のもと、公共交通の あり方とともに、地域の実情を踏まえた交通形態を検 討するものとしている。 公共交通の導入にあたっては、それぞれの地域にお いて適合する有効な交通形態を検討することが必要 である。	未済	公共交通の導入には、地域の実情により 様々な課題がある。その中で、課題解決に 向けた方策を個別に検討することとしてお り、地域からの要望も踏まえ検討する。
4	27	10	定例	決算特別 委員会	都市安全部	道路政策 課	梶川議員	国道176号(宝塚平井線)の売布から宮の町間(清荒 神工区)について、早期に都市計画決定を行い整備 すること。	宝塚平井線の売布神社駅以西の清荒神工区は、都 市計画決定がされていない。 一方、平成26年に策定された県の社会基盤整備プ ログラムでは、執行環境(用地問題、地元調整、関係 機関協議等)が整った段階で事業化を進める箇所とさ れている。 本市としては、県事業として現在施工されている尼崎 宝塚線や宝塚平井線の平井工区の進捗や、他の路線 との兼ね合いにおいて、適切な時期に都市計画決定 に向けての検討を行っていきたいと考えており、当該 箇所については、平成29年度を目途に都市計画の決 定を行いたいと考えている。	答弁に同じ。	未済	平成29年度の都市計画決定を目途に、県 をはじめとする関係機関と協議を進める。
5	27	10	定例	決算特別 委員会	都市安全部	道路管理 課	中野議員	迅速な道路補修を実施するために、市民との協働の あり方について検討をすべきである。	道路管理のアドプト制度を始め、協働のあり方につ いて検討する。	先進事例を参考に、市民との協働についてのメッ ト、デメットについて洗い出しを行う。	未済	今後、先進事例の調査研究を行う。

市議会要望等事項

決算特別委員会(平成26年度)

平成 年	月	定例 臨時 の別	議会の種 別	担当部	担当課	議員名	要望事項	答弁内容(要点記述)	説明 ・課題、問題点・今後の方針	処理 状況 未済	未済の場合 その処理状況
1	27	10	定例 決算特別 委員会	子ども未来 部	子ども政策 課	寺本議員	子ども委員会事業に手がかかりすぎている。子ども施策はもつと他に力を入れるべき事業があるはずである。 効率的、効果的な運用をするべきである。	子ども議会と子ども委員会は、子どもの意見を市政に反映させるという面から趣旨、目的は同じであるが手法が異なる。また、子どもの社会参加の機会を増やすということでも有効である。 「両事業とも、子ども条例や次世代育成支援行動計画だからっ子「育み」プランにおける子どもの社会参加として取り組んでいる。 今後、より幅広い声を吸い上げるような仕組みやより多く参加することのできる仕組みについて、既存事業も含めそのあり方について研究をしていく。	答弁に同じ。	未済	答弁に同じ。
2	27	10	定例 決算特別 委員会	子ども未来 部	青少年課	梶川議員	地域児童育成会の放課後児童支援員の配置基準については、平成22年から見直されていない。その後午後7時までの延長の実施や4年生までの受け入れなど勤務内容が変化している。また、今後6年生まで学年拡大をする予定もあると聞いている。他市の配置基準と比べても宝塚市は70人を超えないと2クラスに分かれない。配置基準をすぐに見直すべきである。	特別支援児の増加への対応など色々な課題の一つとして捉えているので、他市の状況も踏まえ検討する。	他市の基準と比べても第2育成会の支援員配置や児童数が多くなっていったときの支援員配置について課題である。また、特別支援児が年々増加している実態を踏まえると支援員の負担は増加しており、今後高学年の受入れに伴う新たな課題の発生も考えられることから、支援員の配置基準の見直しは必要と考える。	未済	他市の状況も踏まえ検討する。
1	27	10	定例 決算特別 委員会	環境部	生活環境 課	北山議員	市営長尾山霊園には返還区画(空区画)が多数ある。 宝塚すみれ墓苑の貸出への影響もあるが、実態把握と早期の再貸出をすべきである。	現在、専門家に市営墓地のあり方について調査委託している。 調査を受けて市営長尾山霊園の再貸出、市民ニーズのある合祀型墓地の宝塚すみれ墓苑での整備、2つの霊園・墓苑の異なる会計の統合等を整理し、市としての総合的な墓地行政の実施を検討していきたい。	市営長尾山霊園の再貸出に際し、使用料の金額、管理料の金額、徴収方法等を決定し、条例改正の必要がある。 市営長尾山霊園の再貸出に際し、影響のある宝塚すみれ墓苑の貸出、収支をどうするか検討し、対策を講じる必要がある。 市営長尾山霊園と宝塚すみれ墓苑で異なる会計(一般会計と特別会計)で管理しているが、整理統合する必要がある。	未済	平成27年度中には、基本的な方針を決定する。

市議会要望等事項

決算特別委員会(平成26年度)

平成 年	月	定例 臨時 の別	議会の種 別	担当部	担当課	議員名	要望事項	答弁内容(要点記述)	説明 ・課題、問題点・今後の方針	処理 状況 済 未済	未済の場合 その処理状況
1	27	10	定例 決算特別 委員会	産業文化部	手塚治虫 記念館	北山議員	手塚治虫記念館内のショップ、カフェに係る売上を把握し、現行の行政財産使用料の算定方法を見直すべき。	答弁不要(要望のみ)。	館内店舗は、行政財産使用許可を受けた事業者が運営している。店舗の売上は様々な要因で上下し、一概に市か事業者によるものなのか判別できず、出来高制への反映が難しい。	未済	事業者の売上、収益の把握に努め、出来高制の導入が可否について検討する。
2	27	10	定例 決算特別 委員会	産業文化部	文化政策 課	北山議員	小浜工房館については、平成25年3月に、公の施設の指定管理者監査が行われているが、指摘事項が未だ改善されていない。早急に対応すべきである。	早急に指定管理者と協議を行い、改善を図っていく。	監査での指摘事項3点については、指導は行っているものの、他の課題に影響することから改善に至っていない。 全般的な運営の健全化に向けて改善策が必要であり、指定管理者とのさらなる協議を行っていく。	未済	運営全般についての協議を重ねていく。
3	27	10	定例 決算特別 委員会	産業文化部	商工勤労 課	たけした 議員	女性や若者を対象としたセミナー等の就労支援が、市をはじめ関連団体により提供されている。それぞれの事業内容の違いが明確でなく、参加希望者にとって分かりづらだけでなく、重複した内容になっているのではないか。	関連団体との連絡を密にしながら、各事業のターゲットを絞り込むなどして、これまで以上に効果や効率性に配慮して取り組んでいく。	女性や若者に対する就労支援は商工勤労課のほか、女性に関しては市立男女共同参画センターが、また若者に関しては宝塚NPOセンターが実施している。 平成28年度に向けては、予めこれら関連団体と実施内容に関して調整を図る必要がある。	未済	平成28年度に向けて関連団体と調整を図る。
1	27	10	定例 決算特別 委員会	管理部	施設課	梶川議員	市立幼稚園の保育室にエアコンを設置すべきである。	全園の保育室の整備工事設計費と、モデルケースとなる1園の整備工事費について、予算確保に努める。	28～30年度実施計画において要求中。	済	
2	27	10	定例 決算特別 委員会	管理部	施設課	大島議員	市立幼稚園の新築時には、同時にエレベーターを整備すべきである。	今後園舎の新築・改築時には、エレベーターを整備していく。	長尾幼稚園新築工事に関して、25年度3月議会にて「設置について、関係部局と協議し検討していく。」と回答し、新園舎完成翌年度にエレベーターを整備。以降、幼稚園園舎の新築・改築時にはエレベーターを併設する方針について確認済み。	済	
3	27	10	定例 決算特別 委員会	学校教育部	青少年セ ンター	寺本議員	スクールソーシャルワーカーの充実を図ってほしい。	充実に努める。	答弁に同じ	済	拡充に向けて予算要望をしていく。